理学費受責者名 CL レントゲン Withelm Connad Rontgen A. ローレンツ Hendrik Antoon Lorentz ゼーマン Pleter Journal	国 ドイフ オランダ オランタ	後に他に応んで企名される注目すべき放射線X線の発見 放射視象に対する磁性の影響の研究 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ゼーマン効果	1896	はう 発見から 分野 受賞まで 放射線 6 放射線 6
n. ヘンシル Amoine herri becquerei キュリー Pierre Carle キュリー Marie Carle イリー朝(JW.ストラット) Lord (John William Strutt) Rayleigh	フランス	自発的放射板の発見 ラジウムの研究 ! ! 無変な気体の距便に関する研究、およびこの研究により成されたアルゴンの発見 振振線に関する研究	1	1892 1897	放射線 #N/A 放射線 5 #N/A 気体 12 素粒子 8
t.A. レーナルト Philipp Eduard Anton von Lenard L トムソン Sir Joseph John Thormson A. マイケルソン Albert Abraham Michelson リップマン Gabriel Lippmann	フランス イギリス ドイギリス アメンカ フラシス イタリフ ボラング	無要の場合の設定に関する研究、およびこの研究により成されたアケコンの発見 動物能に関する場合である 気の変更に適に関する情報というでは動味中学、患于の参考 気の変更に適に関する場合である。 気が考ました。大子中に基つ支軽時に含ま後更する手。 無線器仮の速度への異数。	中研究	1897 1897 1887 1891	素粒子 8 素粒子 9 素粒子 20 素粒子 17 素粒子 15
スシーティド Prilipp Column Action to Lineard L トレソン Sil passed John Thomson A マイヴィンソ Albert Atenham Michelson リップマン Gabriel Lippman マルコーニ Guglielm of Marconi E プラン Call Fedinard Beaun D. ファン・デル・フールス Johnnes Diderik van der Waals	イタリア ドイワ オランダ			1873	91/6 37
· ヴィーン Withelm Wien 0. ダレーン Nit Gantel Dol&WEllyn カメネリンティネス Heliok Kamerilineh Onsea ルラウエ Max von Lase H. ブラッグ Sir William Herry Bragi	ドイフ スウェーデン オランダ ドイフ イギリス	除放射を支配する法則に関する発見 灯台や打浮標などの指列用ガス貯蔵器に取り付ける自動調節機の発明 低温における物性(休息、盤、鉛)の研究、物にその成果である液体へりつムの2	Ann. Phys.: 58 (1896) 662-669 , Philos. Mag. Ltd.	1896 1909 1909年に	気体 15 その他 3
x、テウエ Max von Laue H. ブラック Sir William Henry Bragg L. ブラック William Lawrence Brauts のまた。	イギリス	製品によるX額回折現象の発見 X額による製品構造解析に関する研究 !	Nature: 90 (1912) 219-219 (William Henry		数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数
L. ブラッグ William Lawrence Brand 質像はL G. バーラウ Charles Glove Barklu K.E.L. ブランク Mas Kwi Ernst Ludwig Planck シュタルク Johanness Blank と メョム C. E. William Louise Guillaume アインシュタイン Albert Entation ボーア Wolst Parrisk David Bohr	イギリス	・ 元素の特性X線の発見 エネルギー量子の発見による物理学の進展への貢献	Annalen der Physik: 1 (1908) 719	1909 1900	数射線 8 素粒子 18 素粒子 14 物性 23
ンエアルツ Johannes Stark E. が a ー ム Charles-Edouard Guillaume アインシュタイン Albert Breatin	F47 F47 A4A F478155A F27-9	元素の特別X線の発見 エネルギー量子の発見による物理学の進展への貢献 カナル線のドップター効果。および電場中でロスペクトル線の分裂の発見 インバー会なの見見とそれたとは最高別域の開発 用端物理学に対する貢献、特に大電効果のは割りの発見 野子機造と用子のも食材に関する世界についての貢献		1905 1897 1905 1913	東位ナ 14 物性 23 東粒子 16
o− r Niels Henrik David Bohr A. ミリカン Robert Andrews Millikan K. シーグパーン Karl Manne Georg Slegbahn	テンマーク アメリカ スウェーデン	原子構造と原子から放射に関する研究についての貢献 電気裏量および余型効果に関する研究 X助分光学における研究はよび発見 電子の原子に対する研究を支配する法則の発見	Phys. Mar. XX: 6 (1910), 209	1913 1910	素粒子 16 素粒子 9 素粒子 13 放射線 #N/A 素粒子 11
ルーア wate nervic times doors A. とリカン Robert Andrews Milliam K. シーグソイーン Karl Maren Georg Siegbahn フランク James Franck ルルフ Gustaw Ludwic Hertz B. ベラン Jean Baptiste Parrin H. コンプトン Arbur Helly Compton	アメリカ スウェーデン ドイフ ドイフ フランス アメリカ	ng - いがすに対すの国外を支配する法則の発見 ・ 特質の不連続的構造に関する研究、特に沈殿平衡についての発見 がに同えた命名まれたコンプト・45mmの自由			
H. コンプトン Arthur Holly Compton ウィルソン Charles Thomson Rees Wilson W. リチャードソン Owen Willams Richardson	アメリカ イギリス イギリス フランス インド	1 知の不適性を開発に関する研究、特に対象子家についての意見 地に関いてかられたコンターンの実の発見 増減 (低光の凝熱により需要が不可能を検索できるようにする方法)の申案 発電 (低光の凝熱により需要が不可能を検索できるようにする方法)の申案 物を予定数の可能にの発見 対象に関いているを表れたラマン効果の発見 対象に関いて研究と使じ返れて命名されたラマン効果の発見	Proc. Cambridge Philos. Soc.: 11 (1901) 286-	1923 1911 1901	物性 17 放射線 4 素約子 16 素粒子 27 素粒子 6 素粒子 6
H. コンテトン Arthur Holly Compton フィルシン Charles Thomono Roses Wilson M. サチャドソン Owen William Richardson A. ド・プロイ Prices Louis-Viller Puren Ruymend de Broglie V. テマン Sir Chandrasekhara Verikata Raman 責備なし ハイゼンルク Werner Karl Heisenberg	フランス インド ドイフ	電子の放動的特性の発見 光散乱に関する研究と彼に因んで命名されたラマン効果の発見 ・ 量子力学の創始ならびにその応用、特に同業異形の水裏の発見	Nature: 121 (1928) 501 Z. Phys.: 33 (1925) 879-893	1901 1923 1928 1925	東粒子 6 東粒子 2 #N/A 東粒子 7
シュレーティンガー Erwin Schrodinger	オーストリア イギリス	ボール・ボール のでは、	Phys. Rev.: 28 (1926) 1049-1970 (Schrö !	1926	素粒子 7 素粒子 7 #N/A #N/A
M. ディラック Paul Adrien Maurica Druse ### ***	イギリス オーストリア アメリカ アメリカ イギリス イタリア アメリカ	中は子の発見 宇宙線の発見 勝つ発見 開発	Nature: 129 (1932) 312 Phrs. Z.: 13 (1912) 1084-1091 Phrs. Rev. 43 (1933) 491-488	1932 1912	素粒子 3 素粒子 24 素粒子 3 素粒子 10
ルデーディソン Clinton Joseph Davisson P. トムソン Georgie Paget Thomson フェルト France Fermi	アメリカ イギリス メタリア	結晶による電子銀回折現象の発見			
0.ローレンス Ernest Orlando Laurence 責義なし 未表かし	7200	・ 中性子放射による新放射性元素の存在証明および間連して熱中性子による原子性反 サイクロトロンの発明・開発およびその成果、特に人工放射性元素 -		1934 1932	放射線 4 放射線 7 #N/A #N/A
責者なし 責者なし . スターン Otto Stern ラビ hidder Issac Rabi	・ アメリカ アメリカ	・ ウザ級の名法の関係への開催と指字の協定モーメントの指見 校が考案にた。原子核の協設的保険を設定する共和。 パケリ原常ととがはため特徴の外側 終却に確認の解例と、それによる高級国際中に関する最早 タイルンの開発としている。 イルリンの開発とは一般では、日本のは、日本の大学 校内の指数が開発に基づく専門での存在の子様 学者によるは「中華機関係の研究」との子様	Phys. Rev.: 55 (1939) 526	1933 1939	#N/A 事約子 10 素粒子 5 素粒子 20
ハウリ Wolfgang Pauli ルプリッジマン Percy Williams Bridsman リアップルトン Sir Edward Victor Apolyton	アメリカ アメリカ オーストリア アメリカ イギリス イギリス	パウリ原理とも呼ばれる接他律の発見 経高圧器面の発明と、それによる温圧物理学に関する発見 上層大気の物理が研究、特にアップルトン層の象型	Z. f. Phys.: 31 (1925) 765-783	1925	東粒子 20 物性 #N/A 東粒子 21
M.S. ブラケット Patrick Maynard Stuart Blackett 川男樹 Hideki Yukuwa F. パウエル Cacil Frank Powell	イギリス 日本 イギリス	上級大阪の物理が同次、特にアッフルドン権が完別 ウィルアンの機能の手面の発展し、それによる所す核物理学および宇宙線の分野に 地方の理論的研究に基づく中間子の存在の予想 予定による基子体機能接待の研究方法の特別およびその方法による属中間子の発見 人工的に加速した原子機粒子による原子物変換についての先駆的研究	: 2. 676 年見 Proc. Phys. Math. Soc. Jap.: 17 (1935) 48 見	1935 1938	歌性 #N/A 素粒子 21 素粒子 #N/A 素粒子 14 放射線 12 放射線 19
## 86 L. 7.8 = 1/2 Olm Slam 7.8 = 1/2 Olm S	日本 イギリス イギリス アイルランド アメリカ アメリカ	人工的に加速した原子検控子による原子検定検についての先駆が研究 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			東粒子 6
M. バーセル Edward Mills Purcell ゼルニケ Frits (Frederic) Zemilos . ボルン Max Born	アメリカ オランダ イギリス	- 位相差を用いた手法の実証、特に位相差顕微鏡の発明 最子力学に関する基準研究、特に位相差顕微鏡の発明	Physica: 1 (1934) 689-704		
ボーテ Walther Bothe E. ラム Willis Eugene Lamb クッシュ Polykarp Kusch	ドイツ アメリカ アメリカ	コインシデンス比による版学報度応とそれによる像県 水楽スペクトルの機関構造に関する発見 彼が考案した電子の磁気を一メントのご確な決定法 半層体の研究およびトランジスタ効果の発展。		1927	東粒子 19 東粒子 28 東粒子 27 東粒子 #N/A 東粒子 #N/A 軟性 10
"(#52) Max filem "(#32)	オランダ イギリス ドイワ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ				AN/A
展察 Chen Ning Yang 設計 Tsung-Dao Lee L チェレンコフ Pavel Alekseyevich Chenenkov	中国ソ連	素粒子物理学における重要な発見に導いた、いわゆるパリティについての用限的な ! デェレンコフ効果の発見とその解釈			素粒子 1 #N/A 放射線 24
d. フランタ II. ja Mikhailovich Frank E. タム Igor Javgenyavich Tamm G. セグレ Emilio Gino Seatre	ソ連	! 短端子の発根	Phys. Rev.: 100 (1955) 947-950 (Seatré and Ch		#N/A #N/A 事約子 4
サンバレン Owen Chamberlain A グレーザー Donald Arthur Glaser ネフスタンター Robert Helstader L メス・イツアー Robelt Ludwig Messbauer D. ランダウ Lev Dweldowich Landau	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ ドイツ ソ連	公園の発明 記職の発明 原子核内での電子繊維品とそれによる柚子の構造の象景 ガンマ膝の具体情報が、このでの研究および、それに関連する彼に図んで命名された 彼が確立した規能の報告を指示。株に適かりつないこので、	Phys. Rev.: 87 (1952) 665-665 Phys. Rev. Lett.: 5 (1960) 263-265 Phys. Rev.		#N/A 素粒子 8 素粒子 1 放射線 4 物性 #N/A
・メスパウアー Rudolf Ludwig Mossbauer 3. ランダウ Lev Davidovich Landau R ウィグナー Eugene Paul Wigner	ドイツ ソ連 アメリカ	おって場の其場後後についての研究および、それに関連する彼に関んで命名された 彼が確立した凝結が影響の理論、特に液体・リウムについて 展子軟はよび素配子に関する理論への貢献、特に対称性の基本原理の発見とその反 原子軟はなる素配子に関する発見	メスパウアー対果の発見	1957	放射線 4 物性 #N/A 素粒子 #N/A
, ゲッパート-メイヤー - Maria Goeppert-Mayer H.D. イェンゼン - J. Hans D. Jerssen H. タウンズ - Charles Hard Townes	アメリカ ドイフ アメリカ	ボラリスとも場合に関する発見 ボラリスを表現している。 サールフトロニクス分野の基礎研究および、メーザー・レーザー原理に基づく目 量子エレクトロニクス分野の基礎研究および、メーザー・レーザー原理に基づく目			素粒子 14 #N/A 素粒子 10
G. パソフ Nicolay Germadiyevich Basov M. プロネロフ Aleksandr Mikhailovich Prokhorov 休振一郎 Sin-hiro Tomonaga	ソ連 ソ連 日本	!! ! 量子電磁力学の分野における基礎研究と、薬粒子物理学についての深い傾論			#N/A #N/A 素粒子 19
2. 5 9 7 9 1 ce Destination Lordez 2. 7 9 7 9 1 Course Paril Program Margare 1. 1 4 2 9 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	アアドアソリカ メメイメ連連本メメラメメラメメラン リカッカ カカスカカカーススカカカーススカカルーススカ	T .		1950 1939	#N/A #N/A 素粒子 16
A.ベーチ Hans Albrecht Bethe W.アルヴァレ Luis Walter Alvanez - ゲル・マン Murray Gell-Mann	アメリカ アメリカ アメリカ	1 服子のラジオ波共鳴を研究するための光学的手法の発見および開発 原子板瓦が増添った男性、特に歪っ内部におけるエネルギー工法に関する発見 集めそ時間でよってきないます。 例に並がしたした未来消略を用いた手法。 無効子の対面よなどもの話されに関する異なた発見 ブラスで制御よながもの話されに関する異なた発見 ブラスで制御を対象があるなが、の場所を表した所を手が、機能技術力学における基準	Phys. Rev.: 55 (1939) 434-456 2. <u>とびデータ解析の保護により可能となった多数(</u> Phys. Rev.: 92 (1953) 833-834	1959	素粒子 28 素粒子 #N/A 素粒子 16 物性 #N/A
アルヴェーン Hannes Olof Gosta Alfven ネール Louis Eugene Feix Neel ガボール Dennis Gabor	スウェーデン フランス イギリス	プラズマ物理学の様々な部分への有罪表立応用を伴う、電磁流体力学における基準 固体物理学における基準な応用をしたらした反体磁性および キログラフィーの受解および使展 一般にBCS理論と呼ばれている、彼らが共同で発展させた超伝導についての理論	Nature: 161 (1948) 777-779		新粒7 16 物性 #N/A 物性 #N/A その形 23 物性 15
バーディーン John Bardeen N. ターバー Leon Neil Cooper R. シュリーファー John Robert Schrieffer	アメリカ				#N/A
終発的像 Leo Esaki ジエーバー Ivar Giaever D. ジョセフソン Brian David Josephson	日本 アメリカ イギリス				9715 13 #N/A 9715 11
か当サーファー John Poster Scrivates が出来が Los Essaks ジエーイー has Glasver D. ジェサフト Shan David Josephson ライル Sir Martin Rite ヒューイッシュ Antony Howish ボーフ Auge Holis Bohr	アメッカ 日 末 り カ イ ギ リ リス イ ギ リ リス イ ギ ソ マー ク デンマー ク ア メ リ カ ア メ リ カ	トンネル協会を透透する総電流の信買、特にジェセフソン信果としてよく知られる 電波天文学における水配が研究 (銀施および母紙、特に提口会成技術に関して) 電波天文学における先駆が研究 (40.6.4.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2		1946 1967 1969	明性 11 素約子 28 素粒子 7 素粒子 6
R. セッチルソン - Ben Roy Mottelson レインウォーター - Leo James Rainwater リクター - Burton Richter	デンマーク アメリカ アメリカ	! 新種の重い素粒子の角見についての光駆的研究	Phys. Rev. Lett.: 33 (1974) 1404-1406 (S. C.		#N/A #N/A 事約子 6
$\mathcal{S} = \mathcal{V} - A_{alg}$ Nulsi Bale $\mathcal{S} = \mathcal{V} + \lambda \mathcal{V} = \mathcal{S}$ Ben By Mettalison $\mathcal{V} + \mathcal{V} = \mathcal{V} = \mathcal{V} = \mathcal{V}$ Ben By Mettalison $\mathcal{V} + \mathcal{V} = \mathcal{V} = \mathcal{V} = \mathcal{V}$ Button Richter $\mathcal{C} + \mathcal{V} = \mathcal{V} =$	アメリカ イギリス	! 磁性体と無秩序系の電子構造の基礎理論的研究 !	Phys. Rev.: 109 (1958) 1492-1505 (Anderson)		初位 #N/A 19 #N/A #N/A
H. ヴァン・ヴレックJohn Hashrouck van Vleck L. カビッファ Pjotr Leonidovich Kapitsa A.ベンジアス Arno Allan Penzias	アメリカ イデリリス アメリカ アメリカカ アメリカカ バテメリカカ バテメリカカ アメリカカ	! 低温物理学における基礎的発明および補発見 宇宙マイクロ波質質效制の発見.	Astrophys.L: 142 (1965) 419	1939 1965	おN/A 物性 39 薬粒子 13
$h \leq h \leq h$. The proof Paper Learn develop Kapitas A. $h \geq h \leq h$. The proof Learn $h \leq h \leq h \leq h$. The proof Learn $h \leq h \leq h \leq h \leq h$. The proof Learn Le	アメリカ アメリカ バキスタン	! 素粒子間に働く別い相互作用と電磁板互作用を統一した板互作用についての理論へ !			素粒子 18 4N/A
フィンバーグ Steven Weinburg M. クローニン James Watson Cronin L. フィッチ Val Logadon Fitch	アメリカ アメリカ アメリカ	中性K中間子前様における基礎的な対称性の破れの発見	Phys. Rev. Lett.: 13 (1964) 138-140 (Croein, a		素粒子 16 #N/A
L > a = D = Arthur Leonard Schawtow M, >= 976 -> Kai M, Sieglache	アメリカ アメリカ アメリカ スウェーデン アメリカ	レーザー分光学への貢献 三 高分解紙光電子分光法の開発 価級等に関連した鑑予現象に関する理論			素粒子 25 #N/A 素粒子 #N/A 物性 11
チャンドラセカール Subramarvan Chandrasekhar A、ファウラー William Alfred Fowler	7 × 9 h 7 × 9 h 7 × 9 h	極級がに関連した機器列換を関する理論 目の構造および強化にとって重要な物理的過程に関する理論的研究 宇宙における化学元素の生成にとって重要な原子性反応に関する理論的および実験 例い假互作用を媒介する場であるW粒子および2粒子の発見を導いた巨大プロジェ	Phys. Rev. B: 4 (1971) 3174-3183 Philips Mad - 11 (1931) 592 Ber. Mod. Phys.: 29 (1957) 547-650 C Phys. Ber. B 5 (1957) 547-650	1931 1957	物性 11 素粒子 52 素粒子 26 素粒子 14
4、ティルツ Kenteeri L. Wilson オテンドラセア Subtransarvan Chandrasekhar A. ファンラー William Altest Fowler ルビア Carlo Rubbia ファン・ザル・メール Sirson van der Meer メーリファイング Rusa von Kitzing ルスカ Ernst Ruska	オランダ ドイフ ドイフ	例い場互作用を紹介する場である皆粒すおよび2粒子の見見を導いた巨大プロジェ! 量子ホール効果の発見 電子を用いた大学に関する基礎研究、特に最初の電子顕微鏡の設計 まませいよとなる音を顕常する基礎研究、特に最初の電子顕微鏡の設計			素粒子 14 素粒子 5 素粒子 55 素粒子 4
ピニック Gerd Binnig ローラー Heinrich Robner L ペドノルフ J. Georgi Bednorg	F47 X4X F47	等すを用いた太学に関する基礎研究、特に最初の電子範囲期の抜対 走査型トンネル電子顕微鏡の設計 ! セラミックスの超低等体を発見したことによる重要なプレイクスルー	Phys. Rev. Lett.; 49 (1982) 57-61 (Binnist, and Zeitschrift für Physik B 64 (1986) 189-193 (Be		970/A
$A \times B$. Derail Braids $E \cong 2 \circ G$ and Braids $A \in F \setminus A \circ V$. A Garge Barbare $A \in F \setminus A \circ V$. A Garge Barbare $A \subseteq 2 \circ F$. Makearden Mullie $A \cup F \cup F \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$. $A \subseteq A \cup F \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$. $A \subseteq A \cup F \cup F \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$. $A \subseteq A \cup F \cup F \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$. Learn $A \subseteq A \cup F$.	アメリカ アメリカ イタリア ボランダ ドイフ ドイフ ドイフ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ	サラミックスの地域等等を発見したことによる重要なプレイラスルー ・ ニュートリノピーム法、およびミューニュートリノの発見によるレプトンの二重制 ・			利性 #N/A 素粒子 26 #N/A
「タインバーガー Jack Steinberger 「ラムジー Norman F. Ramsay G. デーメルト Hana G. Debryels	7×95 7×95 7×95	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Phys. Rev.: 76 (1949) 996 Phys. Rev. Lett - 41 (1939) 233, 236.	1949 1978	#N/A #N/A 素粒子 40 素粒子 11
フムシー Norman F, Harmay メデルドト Hans G, Debruilt イクル Wolfgang Paul フリードマン Jonese L Friedman ハウェドール Hunry M, Kendall ナイター Rothard E, Taylor ド・ジャンス Pierre-Gillen de Gernes	F47 7×9h 7×9h	イオントラップ正の開催 1 素粒子物理学におけるウォーク模型の展開に決定的な重要性を持った、陽子および 1			素粒子 21
テイラー Richard E. Taylor ド・ジャンス Pharre-Gillen de Gennes シャルパク Georges Charpak	カナダ フランス フランス	・ 単純な系の秩序現象を研究するために開発された手法が、より接縁な物質、特に※ 粒子検知器、特に多様式比別計数質の発明および発展	Nill Phys. Lett. A: 38 (1972) 339-340 Nucl. Instrum. Methods 47 (1964) 343-344	1972 1968	#N/A #N/A 素粒子 19 素粒子 24 素粒子 18
シャルパタ Georgies Charpak ハルス Bassell A. Hulter テイラー Jasseln H. Tavitar Jr. J. ブロックハウス Bertram N. Brockhouse J. シャル C. Hirder G. Shall	フランス アメリカ アメリカ カナダ アメリカ	粒子検知器、特に多線式比例計数質の発明および発展 重力研究の新しい可能性を開いた新型速量パルサーの発見 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	Nucl. Instrum. Methods: 62 (1968) 262-268 Astrophys. J. Lett.: 195 (1975) L51-L53 by Phys. Rev.: 111 (1958) 747-754	1975	WHS 45
	アメリカ アメリカ アメリカ	1 制能体の研究に用いる中性子板良体所の開発についての光層的貢献(中性子分末) 組織体の研究に用いる中性子板良能がの開発についての光層の貢献(中性子協計 レブトン物理学の光度的影響(エニトリノの使出) レブトン物理学の光度的影響(エニトリノの使出) ムリなよの発展の発展。	RH Phys. Rev.: 76 (1949) 1256-1257 Phys. Rev. Lett. 95 (1975) 1280-1469 Science: 124 (1956) 103-104	1975 1956	物性 #N/A 素約子 20 素粒子 39 物性 24
・イタス Frederick Retries ルリー Devid M. Lee ス・アンロフ Devid M. Lee ス・アンロフ Devid M. Lee ス・アンロフ Decadies D. Oshereff ス・アンロフ Posadies D. Hidhardson チュー Spream Cha	7 × 9 h 7 × 9 h				#N/A
ュー Steven Chu Jーエン-タヌジ Claude Cohen-Tannoudji J.フィリップス William D. Philips		レーザー光を用いて原子を冷却および捕捉する手法の開発	Phys. Rev. Lett.; 55 (1985) 48-51 (Chu)		素粒子 12 #N/A #N/A
"See Disselle Chil. "Lat."> 9.79 C Guarde Colone Terrenot() "Lat."> 9.79 C Guarde Colone To Printipe 9.79 C Bohert B. Laughin 9.79 C Bohert B. Laughin 9.79 C Later C Test 9.74 C Datel C Test 9.75 C Date C Datel C Alloner 1.75 C Datel C Alloner	アメリカ アメリカ ドイフ アメリカ	分数電荷の間起状態を持つ新たな量子流体の形態の発見 ・	Phys. Rev. Lett.: 48 (1982) 1559-1562 (Tsul		明性 16 #N/A #N/A
- ホーフト Genardus 't Hooft エルトマン Martinus J.G. Veltman ルフェロフ Zhones I. Alferov	オランダ オランダ ロシア	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<に利用される半導体へテロ構造の間 !		素粒子 31 #N/A 物性 37
N-tr' – Jack S. Kilby	ドイツ アメリカ アメリカ	情報過程技術における基礎研究 (集積回路の発明) アルカリ金属原子の希薄気体でのボース=アインシュタイン凝絶の実現、および8			ボー AN/A その他 42 物性 6
ーレ Wolfgang Ketterle イマン Carl E. Wieman	F 477 7 × 9 h 7 × 9 h F 477 7 × 9 h 7 × 9 h	・ 体物理学への先駆的貢献、特に宇宙ニュートリノの検出	Phys. Rev. Lett.: 12 (1964) 303-305 (Davis)		#N/A #N/A 素粒子 38
役 Maxatoshi Koshiba トド・ジャコーニ Riccardo Giacconi ヤセイ・アプリコソフ Alexei A. Abrikosov	日本 アメリカ アメリカ ロシア イギリス	・ 宇宙X検罪の発見を導いた天体物理学への光駆的貢献 終伝導と終途動の理論に関する光駆的音			素粒子 40 物性 46
高質 Passinsh Kashba 高度 Passinsh Kashba ルド・ジャコーニ Steards Gaccori クサイ・アプラフス Alessi A. Alrikosov タリー・ダップメラグ Visby L. Grotherg ジェー・ジゲット Passing I. Legal ビール・グラス Passi J. December 2. Legal ビール・グラス Passi J. Passi フィー・ジャット & December 2. Legal	ロシア イギリス アメリカ	! 現い相互作用における無折的自由性の理論的発展	Phys. Rev. Lett. 95 (1979) 1943-1946 (Green		#N/A #N/A 重約子 31
(2) F. (2) Y = N. David Politore (2) F. (2) Y = N. David Winzik (3) Y = N. Finsk Winzik (3) Y = N. Finsk Winzik (3) Y = N. Finsk Winzik (4) Y = N. Finsk Winzik (5) Y = N. Finsk Winzik (5) Y = N. Finsk Winzik (7) Y = N. Finsk Finsk (7) Y = N. Finsk Finsk (7) Y = N. Finsk Finsk (8) Y = N. Finsk Finsk (8) Winzik (8) Winzik (9) Wi	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ ドイフ	***・ *** *** *** *** *** *** *** *** **	Science: 288 (2000) 635-639 (Half)		#N/A #N/A mis 6
・ ホール John L. Hall ・ ル・ヘンシュ Theodor W. Hämsch ・ C・マザー John C. Mather	アメリカ ドイツ アメリカ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			#N/A #N/A 事約子 12
・スムート George F. Smoot ル・フェール Albert Fort ・グリューンベルク Peter Grünberg	アメリカ アメリカ フランス ドイフ アメリカ	前大幅気物状の発見	Phys. Rev. Lett.: 61 (1988) 2472-2475 (Fert)	1988	19 #N/A 19 #N/A
— Ili Yoʻchiro Nambu Makoto Kohuvushi Ili Toshibida Maskowa	アメリカ 日本 日本 イギリス	素粒子物理学および原子核物理学における自身的対称性の破れの機構の発見 自然界においてクォークが少なくとも3世代以上存在することを予賞する。対称性 !		73) po. 652-657	素粒子 #N/A
ルズ・カオ (高額) Charles K. Kao ード・ボイル Willard Roole ジ・E・スミス Georgie E. Smith	イギリス アメリカ アメリカ オランダ	光通保を目的としたファイバー内光伝達に関する国際的単領 職像半議体認識であるCCDセンサーの象明 !	Proc. IEE: 113 (1966) 1151-1158 Rell System Tark 1 - 40 (1970) 587, 599	1966 1970	素粒子 43 素粒子 39
・ガイ L. Andre Gelen ンチン・ノボゼロフ Korestantin Novoselov パールマッター Saud Perlysyttes	オランダ ロシア アメリカ オーストラリア	- 二次元物質グラフェンに関する革新的実験 連方の総新星の観測を通した宇宙の加速物議の発見	Astrophys. J.; 517 (1999) 565-586		明性 #N/A #N/A #N/A 素粒子 13
・P・シュミット Brian Schmidt 一ス Adam Riess アロシュ Serde Haroche	オーストラリア アメリカ フランス	地グッルが利益が組めた地にルチョンルの地域がアルガー! ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			#N/A #N/A mis 16
ンド・マインランド David I Windowl ソフ・アングレール Francois Englant 	アメリカ フランス アメリカ ベルギー イギリス	・ 前州原子被研究機構 (CERN) によって存在が確認された裏粒子 (ヒッグス粒子) に	-# Phys. Rev. Lett.: 13 (1964) 321 (Englert)	1964	素粒子 49 #N/A
= 0 : If A = William Route y □ f : X ≠ X = Content E-with (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ F y ·) f ∈ X = X = Content (S ≠ X = X = X = X = X = X = X = X = X = X	日本日本	高輝度で名誉力の白色を選を実際可能にした普色発光ダイオードの発展 ・			8N/A
田田電 Taknaki Kalita ーサー・B・マクドナルド Arthur B. McDorald イヴィッド・J・サウレス David J. Thusdor-	日本 カナダ イギリス	- 美柱子「ニュートリノ」が質量を持つことを示すニュートリノ振動の発見 ・ 特質のトポロジカル似とトポロジカル核転移の理論的発見			素粒子 16 #N/A 物性 43
ンカン・ホールデン Durcan Haldane コン・M・コステリッツ Michael Kosterlitz イナー・ワイス Rainer Weiss	イギリス	可見の下がレンガル場と下ボロンガル機能がの機能が対象と ! ! UGO検金器および着力波の範囲への決定的な音載			#N/A #N/A
リー・バリッシュ Berry Berish ップ・ソーン Kin Thomas ーサー・アシッカン dethor debbin	アメリカ アメリカ アメリカ アメリカ フランス カナダ				#N/A #N/A
x ラール・ムル Gérard Mourou ナ・ストリックランド Donna Strickland マールゴ・ドーブルス tim Pashlan	フランス カナダ アメリカ	党ピンセットの開発と生体システムへの応用 経高出力・超知バルスレーデーの生成方法の開発 物理学由論における理論的条単			助性 48 物性 33 #N/A 重約子 #N/A
With Clark Manager and Park Manager and	アメリカ スイス スイス イギリス ドイフ アメリカ ドイフ イカリア フランス アメリカ	物理宇宙論における理論的発見 太陽型恒星を周回する太陽系外感星の発見 ・ ブラックホールの形成が一般報対性理論の強力な裏付けであることの発見		1994 1964 共ホーキ: 1996 市力偏移:	素粒子 25
インハルト・ゲンフェル Reinhard Genzel ンドレア・ゲズ Ardrea M. Ghaz 銀河町 Svokuro Manaba	ドイツ アメリカ アメリカ	ブラックホールの形成が一般和対性理論の協力な実付けであることの発見 我々の銀円系の中心にある超大関策コンパクト天体の発見 一 地球の気候の処理的セギリング、気候変動の定量化、地球温硬化の確実な予測		1996 (6:75 WH) 1964	#N/A # mill 57
ンドレア・グズ Arches M. Gibts 副規則的 Souter Manaba ラウス・ハッセルマン Klass Hasselmann コルジョ・イロー 70 Giovaria Penini ラン・フスペ Alain Azenet コン・クラウザー John E. Clauser シンシ・ツッド リンドー Aren Zellinetes	ドイツ イタリア フランス	1 国子から規定のスケールまでの取得システムの無税店と金額の相互作用の保息 量子もつれ状態の光子を用いた実験によるベルの不等式の彼れの実証と、量子情報			#N/A 重約子 42 重約子 48
					#N/A